

ANNIVERSARY

50th KSK

郡山食品工業団地協同組合

みんなでつなごう 感謝のこころ。 みんなでつくろう 新しい未来。

福島から食を通して「安全・安心」を伝え、福島ブランドをよみがえらせよう。
「感謝」の気持ちと「縁」を大切に地域に根差した食品工業団地をめざそう。
食品団地創設の情熱を受け継ぎ、次世代の団結と未来づくりをすすめよう。



ごあいさつ

21世紀に入り社会環境の変化が激しく、時代の移り変わりが一層早くなる中、組合員各企業が一歩ずつ前に進み、また、一丸となって協力して組合事業を行ってきました。そして今年、お陰様をもちまして、私たち郡山食品工業団地協同組合は創立50周年を迎えることとなりました。

思い越せば昭和47年、郡山市内の食品製造業者が結束し、任意組合として創立後、昭和49年に協同組合を設立、昭和51年には全国でも珍しい協業組合2社を含む12社が一斉操業を開始しました。食品工業団地協同組合は、環境の保全と安全で衛生的な食品づくりのために、当初より排水処理場や共同衛生検査所、高品位重油の共同購入に取り組んできました。それから50年間、「緑と太陽につつまれた食品団地」として「公害のない清潔な工場からよりよい食品をつくる」をモットーに、安全で美味しい製品を皆さまにお届けしてまいりました。

顧みますと、その間には数々の困難や苦境もありました。中でも昭和61年8月5日には未曾有の水害を被り、お盆をはさんで長期間の操業停止という壊滅的なダメージを受けましたが、全組合員が一丸となり復旧に取り組み、国、県、市、そして指導機関、またお取引様をはじめとする皆さまの温かいご支援に後押しされ、驚異的な早さで復旧復興することができました。その後も平成23年3月11日の東日本大震災、そしてそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故は、当食品工業団地にも数々の困難をもたらしました。令和元年の台風19号被害や令和3年2月・令和4年3月の福島県沖地震の影響、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大は世界全体を揺るがす影響を与えています。しかし、こういう逆境だからこそ食品団地の創立時からの想い「協力は強力なり」の精神で心をつ一つにして復興に、更なる発展をめざしている処でございます。また福利厚生のために平成3年企業内保育園として開園した「はなさと保育園」は平成14年に郡山市認可保育所として承認され、働きやすい職場づくりの実現に貢献しており、園児の元気で健やかな笑い声がいつも団地内に広がっております。

この50周年記念事業を企画するに当たりまして特別委員会が設置され、委員には前回に引き続き当食品団地では第3世代といわれる方々が、これからの未来を見据えた記念事業を企画してくれました。

みんなでつなごう 感謝のこころ。みんなでつくろう 新しい未来。

これが郡山食品工業団地協同組合のスローガンでございます。この50年に亘り食品団地に寄せられました多方面の関係する皆さま方からの温かいご理解とご支援、そして「縁と絆」で結ばれた組合員企業、そこに働く社員たちを含めた人々への感謝の気持ちを持ち続けていく所存でございますので、今後とも皆さまのご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

郡山食品工業団地協同組合
理事長

佐藤 文吉

株式会社 郡山製館

